

| 1. 本授業科目の基本情報 | | | |
|---------------|---------------------------|------|------------|
| 科目名 (コード) | 医療通訳基礎Ⅱ | | (TCM124) |
| 講義名 (コード) | TCM_医療通訳基礎Ⅱ | | (TCM124) |
| 対象学科 | 国際コミュニケーション学科 | 配当学年 | 1学年 |
| 対象コース | 日中医療通訳コース | 単位数 | 4 |
| 授業担当者 | 劉琦 | 時間数 | 60 |
| 成績評価教員 | 劉琦 | 講義期間 | 秋学期 |
| 実務者教員 | はい | 履修区分 | 必修 |
| 実務者教員特記欄 | 本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。 | 授業形態 | 講義 |

| 2. 本授業科目の概要 | |
|-------------|--|
| 到達目標・目的 | 医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材を育成する。 |
| 全体の内容と概要 | 前期では日常会話や文字によるニュースの通訳を中心としたが、後期では音声と映像による通訳の訓練を行う。引き続き4段階に分けて進めていくことにする。(1) 朗読による発音の訓練。(2) ヒヤリングの訓練。(3) 記憶の訓練。(4) 医療関係の内容を中心とした通訳の訓練。また、並行して厚生労働省の教科書も学習する。上記のほか、(5) 年末試験とその解説。(6) 課題3回。 |
| 授業時間外の学修 | 毎日必ずネットやTVで日本語のニュースを見る。 |
| 履修上の注意事項等 | 基本的には録音や録画などをClassroomに配布するので、必ず予習しておくこと。 |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 | | | |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 | | | |
| 評価基準 | 知識 (期末試験点) 60% | 自己管理能力 (出席点) 30% | 協調性・主体性・表現力 (平常点) 10% |
| 評価方法 | 期末試験の点数 | 出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ) | 授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点) |
| 成績評価基準 | 評価 | 評価基準 | 評価内容 |
| | S | 90~100点 | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。 |
| | A | 80~89点 | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。 |
| | B | 70~79点 | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。 |
| | C | 60~69点 | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。 |
| | D | 59点以下 | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F | 評価不能 | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 | |

| 4. 本授業科目の授業計画 | | |
|---------------|---|---------------------------------|
| 回 | 到達目標 | 授業内容 |
| 1 | 朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度 | 厚生労働省の医療通訳資料の朗読および通訳 |
| 2 | 朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度 | 厚生労働省の医療通訳資料の朗読および通訳 |
| 3 | 記憶の訓練（中国語）：15秒前後の内容は1度聞いて80%、30秒前後の内容は2度聞いて80%ぐらい記憶できる。 | 中国語の練習問題、音声の書取 |
| 4 | 記憶の訓練（日本語）：10秒前後の内容は1度聞いて80%、20秒前後の内容は2度聞いて80%ぐらい記憶できる。 | 日本語の練習問題、音声の書取 |
| 5 | 記憶の訓練（日本語）：10秒前後の内容は1度聞いて80%、20秒前後の内容は2度聞いて80%ぐらい記憶できる。 | 日本語の練習問題、音声の書取 |
| 6 | 音声による通訳の訓練：録音を聞きながら通訳できる。 | 日本語→中国語（N2かN1あるいは留学生試験のリスニング問題） |
| 7 | 音声による通訳の訓練：録音を聞きながら通訳できる。 | 中国語→日本語（中国語検定試験2級か準1級リスニング問題） |
| 8 | 音声による通訳の訓練：録音を聞きながら通訳できる。 | 日本語→中国語（N2かN1あるいは留学生試験のリスニング問題） |
| 9 | 音声による通訳の訓練：録音を聞きながら通訳できる。 | 中国語→日本語（中国語検定試験2級か準1級リスニング問題） |
| 10 | 映像による通訳の訓練：録画を見ながら通訳できる。 | テレビ番組やネット映像を見ながら通訳する。日本語→中国語 |
| 11 | 映像による通訳の訓練：録画を見ながら通訳できる。 | テレビ番組やネット映像を見ながら通訳する。中国語→日本語 |
| 12 | 映像による通訳の訓練：録画を見ながら通訳できる。 | テレビ番組やネット映像を見ながら通訳する。日本語→中国語 |
| 13 | 映像による通訳の訓練：録画を見ながら通訳できる。 | テレビ番組やネット映像を見ながら通訳する。中国語→日本語 |
| 14 | 年末テスト | 一人ひとり教室に入り試験を受ける。 |
| 15 | テスト問題の解説 | テスト問題の答え合わせと解説 |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 | |
|-----------------------|--|
| 教科書 | |
| 参考文献・資料等 | 「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布） その他適宜配布 |
| 備考 | 練習問題（活字、音声、映像など）を配布する ・本講師は、通訳分野で活躍し、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。また出版関係でも活躍し、本校での実務者教員である。 |